

\*本校では、教職員一人一人が、今年度の重点目標について各自の取組を評価し、今後の指導や学校運営に生かしています。

### 令和2年度 那須特別支援学校 教員自己評価

[評価基準]主語:「私は」 a:よく当てはまる b:当てはまる c:やや当てはまらない d:当てはまらない

| 重点目標  | 評価項目  | 評価の観点   | 評価 |
|---|---|---|----|
| <p>くに舎人へり努一の力をめ貫く実践「魅能的な配る人な配る。あ限慮人るりに指発基分導揮づか内さいっ容れてと、動指小児け導中童る方高生一法訪徒授の問一業工寄人づ夫宿一</p> | <p>①校内研究の充実<br/>「一人一人が分かって動ける」授業づくりの実践(校内研究)</p>  | <p>①グループ研究では、指導内容や指導方法を教員間で共有して理解を深めることができたか。</p> <p>②授業づくりの視点を意識しながら、グループ研究で深めた指導内容や方法を実践に生かすことができたか。</p> <p>③校内研究を通して、児童生徒の学びを充実させることができたか。</p> |    |
|   | <p>②キャリア教育<br/>・小中高訪問寄宿舎の系統性のある指導内容と指導方法の工夫<br/>・キャリア教育の視点をもった指導の実践</p>   | <p>②児童生徒の将来像を意識し、自立と社会参加を目指した授業や行事、活動を展開することができたか。</p>  |    |
|   | <p>③合理的配慮<br/>・児童生徒の実態把握<br/>・保護者のニーズの把握<br/>・合理的配慮に基づいた学習環境および指導の工夫</p>  | <p>③児童生徒の障害の特性や具体的場面・状況に応じて配慮することができたか。</p>   |    |
| <p>う境へづくくり児童と童、生防徒災が安安心教し育ての学実べ踐るを学行習環</p>  | <p>①防災安全<br/>・災害等対応マニュアル研修による内容の理解<br/>・各種避難訓練の実施及び課題の考察</p>  | <p>①災害等対応マニュアルの内容の理解や各種避難訓練を通して防災意識を高めることができたか。</p>   |    |
|   | <p>②いじめ防止<br/>・本校のいじめ防止対策基本方針の理解<br/>・いじめ防止研修の充実と積極的参加<br/>・いじめを認知する意識の向上と適切な初期対応</p>   | <p>②いじめを積極的に認知し、教育的解決に向けて速やかに対応しているか。</p>   |    |
|   | <p>③危機管理<br/>・ヒヤリ・ハット事例の活用<br/>・危機管理校内研修への積極的参加<br/>・報告、連絡、相談の徹底</p>  | <p>③ヒヤリハットを繰り返し起こさないための工夫を施すとともに、ヒヤリハット事例を活用して安全管理の意識を高めることができたか。</p>   |    |
|   | <p>④新型コロナウイルス感染症対策<br/>・感染防止対応<br/>・学習保障</p>  | <p>④児童生徒の安心安全を念頭に、感染防止策を施し、限られた環境の中で工夫して指導することができたか。</p>  |    |
| <p>努く体へめ意制3る欲をへにも教あつ職ふて員れ指相た導互学にの校臨信づみ頼く、とり明協にる働</p>                                    | <p>①風通しのよい学校づくり<br/>・教職員の協働体制(連携を図った職務遂行)<br/>・コンプライアンス意識の向上(不祥事防止研修への積極的な参加等)</p>  | <p>①教員としての規範意識を常にもち、他の教員と連携を図りながら学級経営や校務分掌等の学校運営に携わることができたか。</p>  |    |
|   | <p>②自己研鑽(研修)<br/>・在宅勤務中の自己研鑽など<br/>・研修会の積極的な参加</p>  | <p>②研修会参加や在宅勤務中の自主研修等を仕事に生かす(生かす工夫をする)ことができたか。</p>  |    |
|   | <p>③働き方改革<br/>・勤務時間の適正化<br/>・業務改善のための実践<br/>・心身の健康の保持・増進</p>  | <p>③心身の健康を考え、時間管理の実践(時間外勤務の減少等)に積極的に取り組むとともに、効率的な業務遂行を心がけることができたか。</p>  |    |
| <p>校を関へづ密と4くにのりし情保に、報護努心交者めの換やる通や関。う連係学携機</p>   | <p>①保護者との連携<br/>・個別の指導計画の作成<br/>・連絡帳や電話連絡等による保護者との情報共有<br/>・保護者懇談等での共通理解</p>  | <p>①保護者の気持ちにより添うとともに、指導(手立て)に関する理解の促進に努め、家庭と連携して指導を行うことができたか。</p>   |    |
|   | <p>②関係機関との連携<br/>・サービス担当者会議への協力(放課後等デイサービス)<br/>・施設(たかはら学園、子どもの家)との連携<br/>・進路に関する関係機関との連携<br/>・児童生徒の生活に関する関係機関との連携</p>                | <p>②関係機関との連携、情報の共有を図り、児童生徒及び保護者への総合的な支援の一助を担うことができたか。</p>   |    |
| <p>る色してへ。あ、の5る地情へ学域報本校とを校づの積のく連極教り携的育にしにに努た発つめ特信い</p>                                   | <p>①情報発信<br/>・ホームページの内容の充実<br/>・コロナ禍における学校間交流や地域交流の工夫<br/>・公開研修、各種作品展への出品</p>   | <p>①児童生徒が社会とのつながりを意識し、自信をもって自立と社会参加の一助となる活動の工夫に努めたか。</p>  |    |
|   | <p>②センター的機能<br/>・早期教育相談<br/>・巡回相談による各校への相談支援<br/>・高等学校の通級指導に関する相談支援<br/>・特別支援教育学習指導研修の受け入れ(小・中学校)<br/>・福祉、医療、労働関係機関等との連携による就労移行支援</p> | <p>②周辺地域や児童生徒を取り巻く環境に対する特別支援教育の充実と本校への理解の促進に努めることができたか。</p>   |    |

## 令和2(2020)年度教員自己評価結果

